



ポンプ車操法の部：優勝 美津島第1分団



小型ポンプ操法の部：優勝 美津島第10分団



両種目で美津島が優勝

対馬市消防ポンプ操法大会

6月18日、豊玉中学校グラウンドで、第2回対馬市消防ポンプ操法大会が開催され、市内の各町を代表してポンプ車操法の部に6分団、小型ポンプ操法の部に8分団が参加。熱戦が繰り広げられました。

競技は、実際に放水はしないものの、防火水槽から給水し、火点と呼ばれる的にめがけて放水するまでの一連の手順について、ポンプ・ホースなどの操作を速く正確に行うとともに、動きの綺麗さを競うものです。

夏のように強い日差しが照りつける中、操作員たちは、これまでの厳しい練習の成果を発揮しようと真剣な表情で競技に臨んでいました。

大会結果は次のとおり。各種目で優勝した分団は、8月6日に大村市で行われる県大会に出場予定です。

《ポンプ車操法の部》

- 優勝 美津島第1分団（雞知）197点
- 2位 豊玉第1分団（仁位）180.5点
- 3位 上県第2分団（深山・恵古・仁田ノ内）178.5点

《小型ポンプ操法の部》

- 優勝 美津島第10分団（犬吠）140点
- 2位 上対馬第4分団（泉）136点
- 3位 厳原第15分団（瀬）130点

70名が田植えを体験

農業委員会
認定農業者協議会主催 「田植え体験事業」



6月4日、上県町佐護の野鳥の森公園で市の農業委員会と認定農業者協議会が主催する「田植え体験」が実施されました。

この事業は、田植えや稲刈り体験をとおして「農業で作業の楽しさ・収穫の喜びを体験する」ことを目的に企画されたもので、市内から約70名の参加者で賑わいました。

当日は天気にも恵まれ、元氣よく田んぼに飛び込んだ子どもたちは、泥んこになって歓声をあげながら田植えをしていました。スタッフの丁寧な指導で農業や自然とふれあう楽しさを学び、親子のふれ



ツシマヤマネコの痕跡を探す子どもたち



やっぱり泥んこになりました。

あいを楽しんでいたようです。また、田植えが終了した後には、対馬野生生物保護センターの職員が「ヤマネコの痕跡を探せ」と題して、ツシマヤマネコの生態やフンの特徴を説明。子どもたちは、ネズミの骨や稲わらなどが混じったツシマヤマネコのフンを棒で突きながら熱心に観察していました。

比田勝海上保安署が環境教室を実施

比田勝海上保安署は、上県町の久原小学校と上対馬町の比田勝幼稚園を対象に、環境問題への関心を高めてもらうと環境教室を実施しました。

6月13日 久原小学校

5・6年生の児童7名が、女連海岸に漂着しているごみの種類や量を調査し、どんなごみが、どこから流れてきているのか等を考えました。

はじめに署員が海図等を利用して漂着ごみの主なルートや原因等について説明を行い、その後、児童と協力して約400⁺グラムの漂着ゴミを回収。集めたごみを手分けして調査を行いました。



ごみのルートを説明する署員

子どもたちの感想

早田啓助くん(12歳・男)

「身近な海なのに、韓国や中国から来た漂着ごみが多いことに改めて驚きました」

部原拓実くん(11歳・男)

「漂着ごみがたくさんあって調査はとても疲れました。僕たちもごみを海などに捨てないようにしたいと思います」

6月19日 比田勝幼稚園

園児84名に、海上保安庁のキャラクター「うみまる」が登場する環境紙芝居の上演やごみを海や川に捨てないように呼び掛ける環境クイズを実施しました。



参加した久原小学校の児童たち

6月13日 久原小学校
6月19日 比田勝幼稚園

子どもたちの感想

福田瑞樹くん(5歳・男)

「うみまるは、ふわふわしていて、とてもかわいかった。うみまるのようになりたいです」

立石万由里さん(4歳・女)

「クイズはとてもおもしろかった。海にごみを捨てないようにします」



比田勝幼稚園にて



うみまると記念撮影する園児たち

少年棋士2名が全国大会へ出場



写真：右から俵友祐希くん、西太嗣くん、美津島町碁友会の吉野満夫会長、松村市長

長崎県大会(男子個人戦)で優勝し、見事2連覇を達成しました。7月に東京で開かれる全国高等学校選手権と8月に京都で開催される全国高等学校総合文化祭に昨年に引き続き県代表として出場します。「昨年の全国大会では、予選落ちと7位という成績だったので、今年は優勝目指して頑張ります」と力強く抱負を語っていました。

将来の夢であるプロ棋士目指して頑張ってください。

県大会準優勝

西太嗣くん

雑知中学校(3年生)

美津島町碁友会(吉野満夫会長)に所属する俵友祐希くん(12歳)と西太嗣くん(11歳)の両名が、囲碁の県大会で優勝及び準優勝を飾り、全国大会の出場権を獲得。松村市長に報告しました。練習で対戦し腕を磨いているという二人に「いい意味でのライバル同士として、お互いに競い合い、全国大会で優勝して下さい」と松村市長が激励しました。

県大会2連覇の快挙

俵友祐希くん

対馬高校(2年生)

5月21日に開催された第30回全国高校囲碁選手権大会の

5月3日、長崎市で開催された朝日少年少女囲碁名人戦の長崎県大会で準優勝を果たし8月に東京で行われる全国大会に初出場します。「一つでも多く勝って、決勝リーグへ駒を進めたい」と抱負を語っていました。

現在、日本棋院の4段の腕前。好きな食べ物はカレーライス。